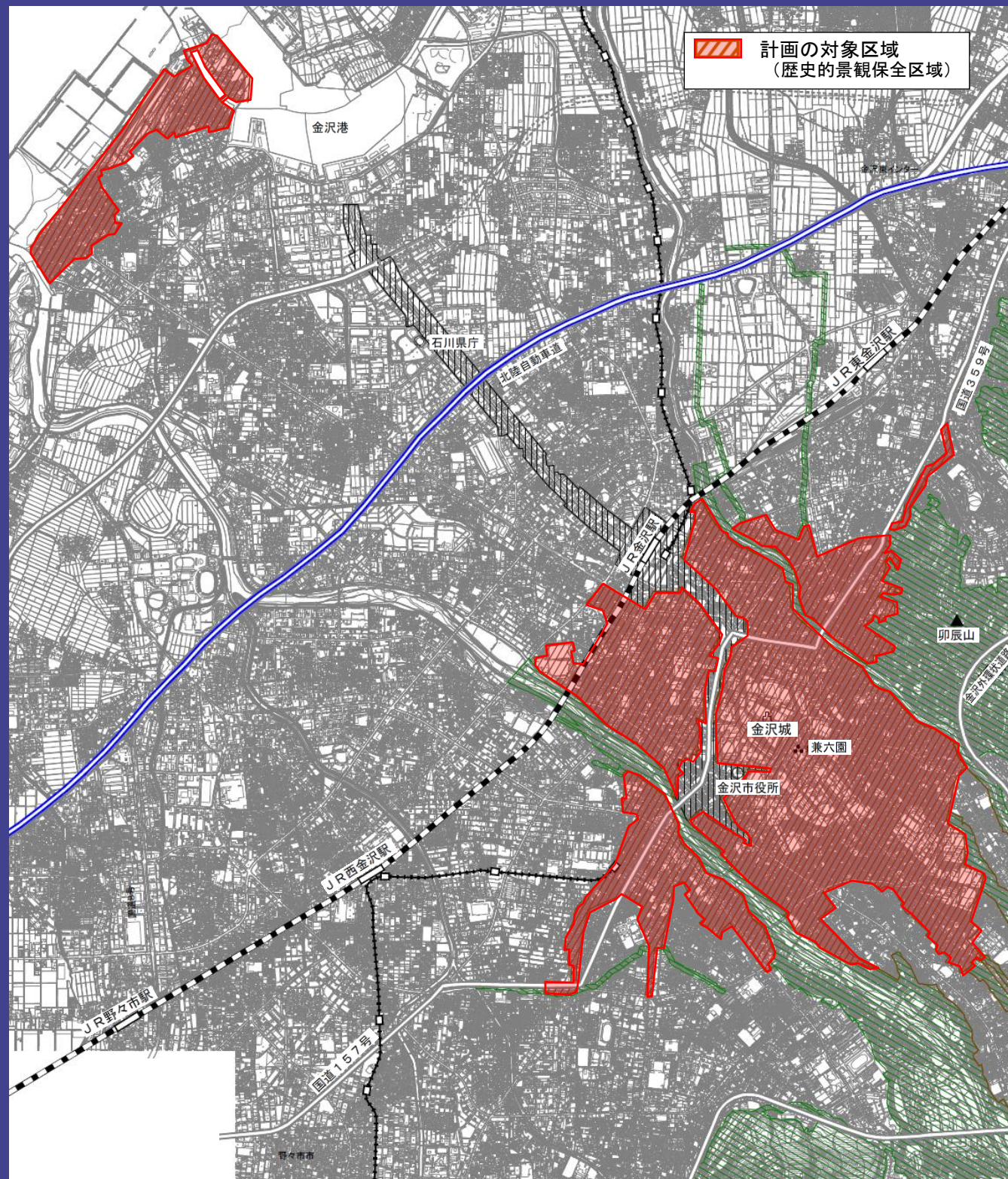


■ 金沢らしい夜間景観整備計画の対象区域



※歴史的景観保全区域はこのほか、森本・花園地域、二俣・田島地域、湯涌地域があります。

金沢らしい夜間景観 の形成に向けて

「金沢らしい夜間景観整備計画」 のあらまし



金 沢 市

【お問合せ先】金沢市 都市整備局 景観政策課 TEL : 076-220-2364
E-mail : keikan@city.kanazawa.lg.jp
URL : <http://www4.city.kanazawa.lg.jp/29020/keikan/index.html>

※「金沢らしい夜間景観整備計画」は上記 URL からご覧になれます。

■ 金沢らしい夜間景観のあり方

金沢市では、「金沢市における夜間景観の形成に関する条例」に基づき、歴史的な景観が残る地域を対象として「金沢らしい夜間景観整備計画」を策定しました。

今後、さらに良好な夜間景観を形成する上で、金沢における日常のあかりのあるべき姿として、4つのあかりを推奨していきます。

1. 暖かみのあるあかり

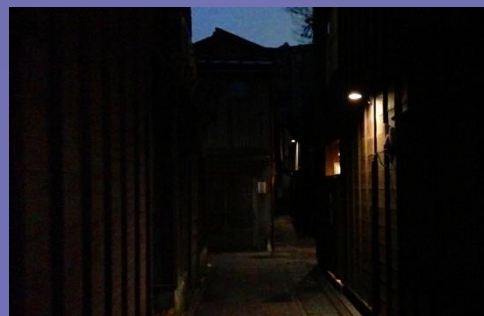
金沢の色彩景観は「木色(もくじき)」がベースであり、また金沢の代表的な伝統産業である金箔になぞらえて、暖かみのあるあかりを基調とします。



ガス灯と明治以来の伝統であるおそろいの行灯。木色の建物と相まって落ち着いた雰囲気を出しています。(ひがし茶屋街)

2. まぶしくないあかり

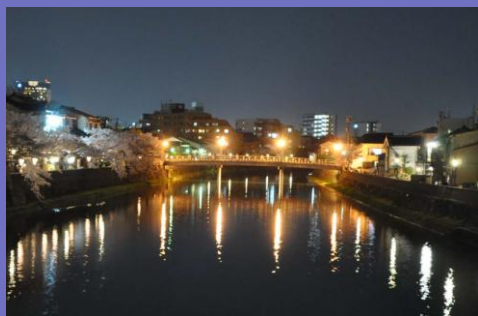
伝統的な街並みの魅力を高めるため、また、景観資源を美しく見せるため、まぶしすぎて不快感を与えない光とします。



狭い路地を照射するスポット照明。下向きに設置することでまぶしさを抑えています。(主計茶屋街)

3. 地域特性に応じたあかり

ベースとなる照明の上に、リズムやアクセントとなるあかりを加え、地域の個性を活かしたあかりのデザインを施します。



地区のシンボル性を高めている照明。一定の間隔を設けられた行灯が水面に映ることによって心地よいリズム感を演出しています。(浅野川中の橋)

4. 生活からにじみ出るあかり

玄関灯やショーウィンドウの光、格子から漏れるあかりなどの生活・生業のあかりを融合させることにより魅力的な夜間景観を形成します。



格子戸から漏れるあかりは、歴史の重層性の中で、人が住んでいるぬくもりを感じさせます。(下新町)

■ 金沢らしい夜間景観の実現に向けて

地域の景観資源を活用した伝統的な街並みの魅力をさらに高める公共照明と、生活のあかりとのコラボレーションにより、金沢らしい夜間景観を形成していきます。

①モデル路線の整備

金沢らしい夜間景観の形成を図るため、無電柱化工事などに併せて順次照明整備を行います。

長町武家屋敷の整備イメージ



土塀や用水に架かる橋などの景観資源を活用して暖かい光で演出します。

寺町六斗の広見の整備イメージ



景観資源である土塀や松を照らすことで、空間の広さや高さ、奥行きを演出します。

②生活のあかりとの融合

夜間景観の統一感を創出するため、玄関灯は暖かみのある柔らかいあかりとなるよう誘導していきます。

また、暮らしている人々の生活からにじみ出る光が、夜間における都市の魅力となります。宅地内からの漏れ光や閉店後の店舗ショーウィンドウの光などのご協力をお願いします。



暖かみのある光の玄関灯



ショーウィンドウの光

歴史的な景観が色濃く残る地域においては、町会等が管理する防犯灯についても安全・安心を確保しつつ、暖かみのある光とすることやまぶしさを抑えることが大切です。金沢らしい夜間景観を形成するため、ご理解とご協力をお願いします。



歴史的な景観と調和した防犯灯の例

